

ねらい

- 市民……立川市立小・中学校の教育実践を知り、学校教育への理解を深める。
- 学校……平成31年度における立川市民科等の取組を共有化し、令和2年度の教育実践に生かす。
- 市民・学校…講演会を通して、地域と一体となった学校教育の在り方について理解を深める。

平成31年度テーマ  
人がつながり、時がつながり、そして未来へ

## 立川市民科

立川市民科の理念は、まさに主権者教育であり、郷土学習、キャリア教育を踏まえ、すすんで地域やまちの行事や活動等に関わることにより、郷土やまちを愛する心情や態度、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する力を養う。全校での「多摩シビック・プライド」の受検、「応急救護・普通救命講習」の受講を進めている。

児童・生徒実践発表

### 立川市児童会サミット 立川市中学生生徒会サミット

#### 目的

○他校生との交流や討議を通して児童・生徒の自立と自律を図り、立川市民としての資質・能力を育成する。



児童・生徒実践発表

### 立川市立第九小学校 味噌づくり

#### 目的

○地域に伝わる味噌づくりを通して、地域に愛着を持ち、地域に貢献する意欲を高める。



児童・生徒実践発表

### サンバーナディノ市派遣報告

#### 目的

○60年の歴史を持つ両市の姉妹都市交流の歩み等を学び、友好と親善の役割を果たすとともに、異文化に触れ視野を広げ、国際的な感覚を育てる。



児童・生徒実践発表

- ・オリパラ文化プログラム「狂言・落語」  
～立川第一中学校～
- ・中学校平和学習  
～広島派遣事業報告～
- ・150周年プレ発表  
～第一小学校～
- ・合唱  
～第五小学校～  
～若葉台小学校～



表彰

### 職場体験 協力事業所表彰

#### 目的

○長年にわたり職場体験に協力し、中学生の育成や学びに大いに貢献した事業所等に謝意を示し、継続した協力を願う。

「つながり」を大切にし、立川市の未来を担う児童・生徒を育成する

## 講演会「地域と共にある学校」

講師 志々田 まなみ 先生 (国立教育施策研究所 総括研究官)

立川市は、18万の市民のうち、毎年1万人が転入・転出する流動性の大きい人口構造となっています。そのため、自治会の組織率の低下や孤立死問題などコミュニティの希薄化が懸念されています。コミュニティ・スクールを実施した各小・中学校において、生まれ育った地域における体験的な学びを通して地域に愛着をもち、「立川市民」として地域に貢献し、やがて世界で活躍する大人になってほしいという願いをもちています。

志々田まなみ先生には、生涯学習・社会教育の専門的な視点とともに、学校運営協議会委員としてのご経験を基に、地域と共にある学校の在り方を中心にご講演いただきます。

<志々田まなみ先生プロフィール> 広島大学大学院教育学研究科修了後、広島経済大学教授を経て、2017年4月より現職。2018年4月より杉並区立三谷小学校学校運営協議会委員。2015年より広島県教育委員。専門分野は生涯学習論、社会教育学。とくに、学校・家庭・地域の連携・協働に関心を持ち、公民館や地域学校協働本部、コミュニティ・スクールを対象とした地域学校協働活動に関する全国調査を実施してきた。

日時：令和2年2月15日(土)  
午後1時00分開始  
会場：立川市市民会館  
(RISURUホール)大ホール

「立川教育フォーラム」とは…

平成16年度から、立川市の教育の充実と推進を図るため、保護者、市民、教職員が一堂に会して、市立小・中学校の実践等を紹介する場として、立川市教育委員会が毎年実施しています。  
平成29年度テーマ「主体的・対話的で深い学び」  
平成28年度テーマ「楽しい!安心!みんなの学校」  
平成27年度テーマ「進んで体を動かし、豊かに関わり合う子を育む」

